

# 西海学園予選L敗退 男子

## 柔道

▽男子団体予選リーグJプロ  
桐蔭学園 4-0 西海学園  
(神奈川) (長崎)

○島 倉 一本背 柴 山  
負い投  
○英 小外刈 坂 本  
り  
○増 子 優 勢 山 岡  
腕ひし 才 津  
○森 田 腕ひし 才 津  
ぎ十字  
栗 野 固め  
引き分 岩 崎  
西海学園 2-1 高 知  
(長崎) (高知)  
柴 山 優 勢 山 内 ○  
坂 本 優 勢 松 原  
山 岡 引き分 佐久間

才 津 引き分 高 木 ○岩 崎 内また 田部井

H18.8.9 長

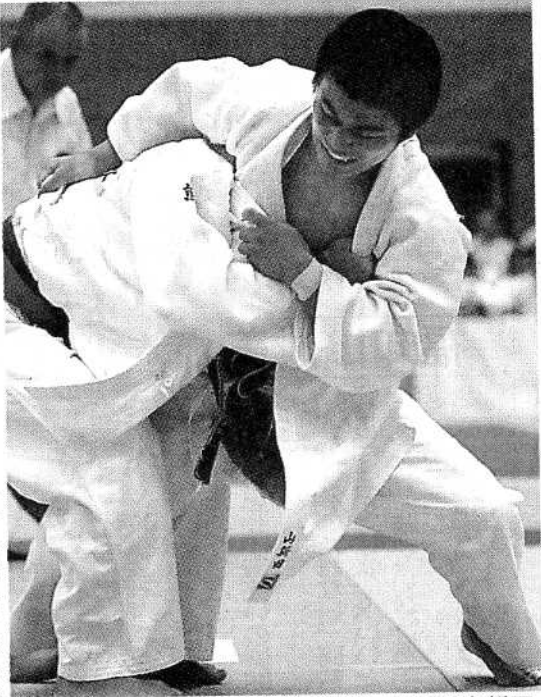
# 山新田(小浜) 5位 男子個人60キ級

## 柔道

▽男子個人60キ級1回戦  
山新田拓亮 優 勢 小島 祐介  
(長崎・小浜) (茨城・土浦日大)

▽同2回戦 山新田拓亮 優 勢 三木 秀輝  
(長崎・小浜) (奈良・天理)  
▽同3回戦 山新田拓亮 優 勢 小寺 将史  
(長崎・小浜) (石川・鶴来)  
▽同準々決勝 山新田拓亮 腕ひし 山新田拓亮  
金子 晃士 腕ひし

(熊本・菊 ぎ十字 (長崎・小池) 固め 浜)  
▽同個人60キ級1回戦  
土子 竜生 優 勢 崎田 一樹  
(群馬・高崎) (長崎・佐崎経大付)  
▽同個人70キ級1回戦  
羽沢 龍飛 肩固め 池田 賢生  
(岡山・作) (長崎・西陵)



【柔道男子個人60キ級準々決勝】小浜の山新田拓亮が果敢に攻める  
＝大阪府堺市金岡公園体育館

小浜勢、3年連続入賞  
○：柔道男子個人60キ級の山新田拓亮が5位入賞。準々決勝は攻め続けたが、腕ひしぎ十字固めを決められ一本負けした。山新田は「入賞はうれしいが、やっぱりメダルが欲しかった。最後は力が出なかった」と

肩を落とした。今大会も減量に苦しんだ。試合前日の計量は体重が約1キオーバー。体育館の周りを走り、汗を絞りに出した。力強さには欠けるが、初戦からスピードと巧みな技でポイントを稼ぎ、勝ち上がった。増永喜久次監督は「本来は66キ級の体格。最後まであきらめず、よく戦った」とたたえた。

西諫早中出身で増永監督の柔道にあこがれた。小浜柔道部の門をたいた。小浜勢は3年連続の入賞となり、山新田は「先輩たちには少しの安堵(あんど)がぞいた。」

H18.8.10 長

【本社取材班】全国高校総合体育大会（インターハイ）06総体THE近畿 第10日は10日、大阪府で3競技を実施。本県勢は柔道に出場し、男子個人100キ級の中村大悟（瓊浦）が3位入賞を果たした。これで今大会、本県勢が獲得したメダルは、団体、個人合わせて10個目（金2、銀2、銅6）。

柔道女子団体に初出場した長崎明誠は、予選リーグ1勝1敗の2位で敗退した。第11日の11日は2競技を行う。

# 06 総体 THE 近畿

第10日

## きょうの県勢

◆柔道 ▽女子個人48、52、57キ級1回戦～決勝

# 中村（瓊浦）3位

男子個人 100キ級

## 夢舞台で 実力開花

### 攻めの姿勢 最後まで



【柔道男子個人100キ級準々決勝】中村（瓊浦・右）が出足払いで技ありを奪う  
—大阪府堺市金岡公園体育館

### 柔道

▽男子個人81キ級1回戦 英 剛太郎 優勢 柳野 琢也 (神奈川)	▽男子個人90キ級1回戦 桐蔭学園 中山 二郎 体落と 八代 祐介 (長崎・五)	▽同2回戦 中山 二郎 内また 佐藤 豊 (長崎・五)	▽同3回戦 橋本 将大 払い腰 中山 二郎 (三重・近)	▽同個人100キ級1回戦 大高 尊 山口 開功 中村 大悟 横四方 山口 開功 (長崎・瓊浦)	▽同2回戦 中村 大悟 優勢 清水 大輔 (長崎・瓊浦)	▽同3回戦 中村 大悟 背負い 岩尾 敬太 (長崎・瓊浦)	▽同準決勝 中村 大悟 合わせ 木下 泰成 (長崎・瓊浦)	▽同準決勝 新井 優来 優勢 中村 大悟 (埼玉・埼)	▽同個人100キ級1回戦 岩崎 佑介 優勢 山本 翔太 (長崎・西)	▽同2回戦 増子 洋平 優勢 岩崎 佑介 (神奈川)	▽女子団体予選リーグDブロック 横須賀学院 1-0 長崎明誠 (神奈川)	▽女子団体予選リーグEブロック 黒江 引き分 植木 (長崎)	▽女子団体予選リーグFブロック 粕川 引き分 近藤 (長崎)	▽女子団体予選リーグGブロック 大 貴 後ろげ 松尾 (長崎)	▽女子団体予選リーグHブロック 長崎明誠 1-1 秋田商 (長崎)	▽女子団体予選リーグIブロック 植木 引き分 菅生 (長崎)	▽女子団体予選リーグJブロック 近藤 引き分 宮原 (長崎)	▽女子団体予選リーグKブロック 松尾 優勢 継田
---	---	-----------------------------------	------------------------------------	--	------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------------	--	----------------------------------	--	--------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	---	--------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------

観衆の多さに圧倒された。柔道を始めた岩屋中時代からあこがれた舞台。3年生で、ようやく立てた。「1回戦を突破できるだろうか」。柔道男子個人100キ級の中村大悟（瓊浦）は、そんな心配さえしていた。

試合が始まれば、自分の力は十分通用した。1回戦を横四方固めで一本勝ち。3回戦はわずか20秒足らずで背負い投げが決まった。準々決勝は開始30秒で技ありを奪い、終了間際に押さえ込み。あっさりメダル獲得を決めた。

準決勝の相手は、組み手のうまい新井（埼玉・埼玉栄）。組ませてもらえず、自分のペースに持ち込めなかった。2分6秒に小外刈りで効果を奪われ、2分49秒にも再び効果。苦しくなった。残り1分、前に出た。小森将弘監督に学んだ攻めの柔道を、最後までやり遂げた。

中学では県中総体3位が最高。高校でも県内大会で2位が続いた。物静かで穏やかな性格。しかし、こと柔道に関しては違った。練習では小森監督に胸を借りた。投げられると悔しさをむき出しに、向かっていった。

県高総体優勝そして九州大会準優勝から、一気に全国3位に駆け上がった。負けたのは悔しいが満足している。

中学2年で昇段して以来、締め続けてきた黒帯。悔しさがにじみ、ポロポロになったその帯に、いい思い出を刻むことができた。（副島）

初出場の長崎明誠  
予選突破ならず涙

○柔道女子団体に初出場した長崎明誠は、予選リーグで1勝1敗。惜しくも決勝トーナメント進出を逃した。

1試合目は秋田商(秋田)と対戦。中堅のエース近藤が一本勝ちする理想的な展開で、全国初勝利を挙げた。続く横須賀学院(神奈川)戦は、先鋒(せんぽう)・植木主将が引き分け、エース近藤も攻め続けながら決め手を欠き引き分け。大将・松尾は後ろけき固めで黒星を喫し、0-1で敗れた。「近藤の得意技を研究されていた。勝てると思ったが、最後の集中力が足りなかった」と小森講平監督。

植木が2年で近藤、松尾は1年。マネジャー武次を含め、部員わずか4人で全国に挑んだ。植木は「地元の方々に支えられてここに來たのに、勝てなくて申し訳ない。来年こそは予選を突破して上に行く」。涙はなかなか止まらなかった。

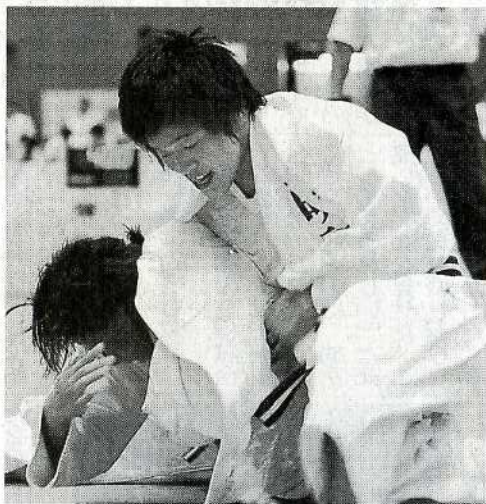


【柔道女子団体予選リーグ、長崎明誠—横須賀学院】  
2戦目に敗れ予選敗退した長崎明誠。(左から)植木主将、近藤、松尾  
—大阪府堺市金岡公園体育館

H18. 5. 11 五

# 1年生近藤(長崎明誠) 3位

西から新星が現れた。柔道最大の武器に物を言わせた。女子57kg級で、九州大会覇者の近藤薫(長崎・長崎明誠1年)が堂々の3位入賞。優勝した柿内沙弥香(高知・岡豊2年)に準決勝で敗れたが、「自分の実力は出せた。こんなに勝つとは思わなかった」。昨年の全国中学大会57kg級で3位に入った1年生が、華々しい全国デビューを飾った。



【柔道・女子個人57kg級準々決勝】  
大工大高・牧志津香(左)に送り襟絞めを仕掛ける長崎明誠・近藤薫

## 女子57kg級準々決勝 残り30秒 逆転の絞め技

けで臨んだが、本人も驚くほどの威力だった。絞め技を覚えたのは、長崎県時津町の道場に通っていた中学時代。指導者から「一つ武器を持っていれば、有利になる」と教わった。当時、中学の柔道部員は、今回70kg級に出場する松尾千香(長崎明誠1年)との2人だけ。絞め技を含めた基礎練習を2人で繰り返した。「練習はしたが、絞めが得意とは思っていなかった」。高校入学後には握力が中学時代の37kgから41kgに。絞める力が増し、次々と技が決まりました。

次兄の哲也(長崎南山—日体大3年)は3年前、長崎で開かれた全国総体で団体戦3位に入った。「今度は兄を越えたい」。隣県の佐賀で迎える来年の全国総体に向けて力を込めた。

(末継智章)

H18. 8. 12 四

# 近藤 (長崎明誠) 3位

## 柔道女子級 個人57キ級



【柔道女子個人57キ級準々決勝】長崎明誠の近藤薫が得意の袖つり込み腰を仕掛ける  
—大阪府堺市金岡公園体育館

## 県勢、メダル11個目

【本社取材班】全国高校総合体育大会(インターハイ)06総体T H E近畿)第11日は11日、大阪府で2競技を実施。本県勢は柔道女子個人57キ級の近藤薫(長崎明誠)が3位入賞を果たし、県勢11個目のメダルを獲得した。  
第12日の12日は柔道とセーリングを行い、県勢は柔道女子個人の63、70、78キ級、78キ級超級の計4階級とセーリング男女に出場する。

06  
総体 THE 近畿  
第11日

## 仲間の声援 力に変える

前日の団体戦では、得意技の袖つり込み腰や寝技を相手に研究され、思うようにな試合ができなかった。だが、これが私の柔道だからと、個人戦も自分のスタイルを崩さなかった。初戦2回戦は寝技で一本勝ち。準々決勝は残り30秒で送り襟締めを決めて逆転。戦いながら迷いを振り払った。

### あきらめず攻めた近藤

柔道女子個人57キ級準決勝。開始10秒で技ありを奪われ、窮地に追い込まれた。何度も投げられそうになり、顔を畳に押し付けられた。それでも「あきらめな!」。小森講平監督や仲間の声が力くれた。長崎明誠1年の近藤薫はひるまず、突進した。最後は優勢負けだったが、「力は出し切れた」。

柔道	
▽女子個人46キ級1回戦 藤井あやか 浮き岡 針尾 愛実 埼玉・埼玉 (長崎・長崎)	▽女子個人46キ級2回戦 玉柴 (長崎・長崎)
▽女子個人52キ級1回戦 西馬 宏実 上四方 寺 脇 翼 大阪・東 (長崎・五)	▽女子個人52キ級2回戦 近藤薫 崩れ上 原添 和佳 長崎・長 (滋賀・草津)
▽女子個人57キ級1回戦 近藤薫 崩れ上 原添 和佳 長崎・長 (滋賀・草津)	▽女子個人57キ級2回戦 近藤薫 崩れ上 原添 和佳 長崎・長 (滋賀・草津)
▽同2回戦 近藤薫 片手絞 熊谷 美穂 (長崎・長崎) (北海道)	▽同3回戦 近藤薫 優勢 平田 紗希 (長崎・長崎) (千葉・八千代)
▽同準決勝 近藤薫 送り襟 牧 志津香 (長崎・長崎) (大阪・大工高)	▽同準決勝 近藤薫 優勢 近藤薫 (長崎・長崎)

H18.8.12 長

# 柔道女子個人78<sup>キ</sup>超級 佐々木(佐世保工) 2回戦敗退

## 06 総体近畿

第12日

柔道

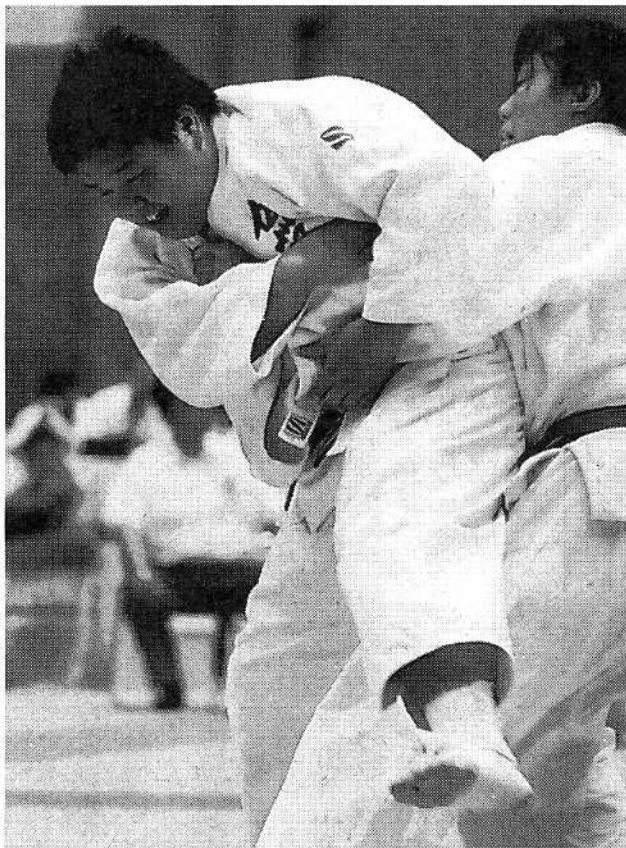
▽同決勝 上野 巴恵 大外刈 田知本 運  
 (北海道・ 旭川南) (富山・小杉)  
 1回戦は54秒に大外刈りを決め1本勝ち。続く2回戦は粘ったが、1分43秒に背負い投げで敗れた。  
 中学時代に体育の授業で柔道に興味を持ち、高校から始めた。同校の女子部員は佐々木1人。1年のころは右ひじ骨折などけがが重なり、ほとんど練習できなかった。故障が回復した2年から徐々に力をつけ、最後の夏に初の全国大会で1勝を挙げた。「実は柔道の技を詳しく知らないんです」と笑う。

▽同決勝 川島巴瑠菜 (北海道・旭川大高)  
 1回戦は54秒に大外刈りを決め1本勝ち。続く2回戦は粘ったが、1分43秒に背負い投げで敗れた。  
 中学時代に体育の授業で柔道に興味を持ち、高校から始めた。同校の女子部員は佐々木1人。1年のころは右ひじ骨折などけがが重なり、ほとんど練習できなかった。故障が回復した2年から徐々に力をつけ、最後の夏に初の全国大会で1勝を挙げた。「実は柔道の技を詳しく知らないんです」と笑う。

▽同決勝 佐々木淳子 (大阪・東大) 阪大敬愛  
 1回戦は54秒に大外刈りを決め1本勝ち。続く2回戦は粘ったが、1分43秒に背負い投げで敗れた。  
 中学時代に体育の授業で柔道に興味を持ち、高校から始めた。同校の女子部員は佐々木1人。1年のころは右ひじ骨折などけがが重なり、ほとんど練習できなかった。故障が回復した2年から徐々に力をつけ、最後の夏に初の全国大会で1勝を挙げた。「実は柔道の技を詳しく知らないんです」と笑う。

▽同決勝 佐々木淳子 (大阪・東大) 阪大敬愛  
 1回戦は54秒に大外刈りを決め1本勝ち。続く2回戦は粘ったが、1分43秒に背負い投げで敗れた。  
 中学時代に体育の授業で柔道に興味を持ち、高校から始めた。同校の女子部員は佐々木1人。1年のころは右ひじ骨折などけがが重なり、ほとんど練習できなかった。故障が回復した2年から徐々に力をつけ、最後の夏に初の全国大会で1勝を挙げた。「実は柔道の技を詳しく知らないんです」と笑う。

【本社取材班】全国高校総合体育大会(インターハイ)06総体T H E近畿)第12日は12日、大阪府などで2競技を実施。  
 ヨットは男女F J級の第1、2レースを行い、県勢は女子の長崎工A(松下・北村)が3位と好スタートを切った。  
 柔道は女子個人の計4階級を行い、県勢は78<sup>キ</sup>超級で佐々木淳子(佐世保工)が初戦を突破したが、2回戦で敗れた。  
 第13日の13日は和歌山県和歌山マリーナでヨット男女F J級の第3、4レースを行う。



【柔道女子個人78<sup>キ</sup>超級1回戦】佐世保工の佐々木淳子が果敢に攻める

大阪府堺市金岡公園体育館

### 県勢唯一の初戦突破

○…柔道女子個人の県

大学進学後も柔道続ける予定で、橋本裕之監督は

1118.8.13 表

「また伸びる選手」と期待。佐々木は「もっと勉強して、大学では全国上位にきたい」と次のステージでの飛躍を誓った。